

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	指定障害福祉サービス事業所 ねむの木苑 放課後等デイサービス事業		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日 ～ 令和7年 2月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日 ～ 令和7年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学部の児童に特化した放課後等デイサービス事業であり、日常生活における生活動作の習得、生活能力の向上へと繋がるよう、子ども一人ひとりに合わせた支援を行っていること	・日々の支援の中で、身辺自立（姿勢、着替え、片づけ）に向けた取り組みや、活動の中に粗大運動・微細運動などを取り入れ、それぞれの苦手を軽減していくことができるよう取り組んでいる。	・安定した姿勢保持のため、子どもの身長に合わせたテーブル・椅子を使用していく。 ・より個々に合わせた支援に繋げられるよう、活動プログラムの充実の他、外部講師を招いてのリトミック・エアロビクスなどの充実を図り体の使い方、感覚の活用方法の習得につなげる。
2	・同事業所内に生活介護事業・短期入所事業があり、生活介護利用者との世代間交流が可能である事、また放課後等デイサービス事業利用児も短期入所事業を利用できること。	・生活介護事業利用者との合同の行事や交流行事を年数回計画している。また放課後等デイサービス事業利用児が短期入所を利用する際は、対応する職員に対象児童について放デイ利用時の様子など伝達したうえで行っている。	・保護者の方が必要な時に必要なサービス(短期入所など)を利用できるよう情報提供を行うと共に、より保護者のニーズに沿った支援が出来るよう事業所間での連携を密にしている。
3	・土曜日も就労している保護者のニーズに応えるため、土曜開苑を実施していること。	・普段できない活動（法人で開催している大人食堂への参加、苑外活動）などに取り組んでいる。	・土曜開苑の回数を増やしていけるよう、法人内の他放課後等デイサービス事業所との連携を検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブとの交流や、地域の他のこどもとの関わりを持つ事ができていないこと。	・まだまだ地域全体の認識不足が感じられる。 ・地域のこどもたちとのつながるきっかけ作りができないている。	・まずは地域のこどもたちとの関わり場を探していく。例えば地域の公民館祭などへの作品出品や地域のこども食堂への働きかけ(ポスター掲示等での事業所PR) など検討していく。
2			
3			